

ニュース いちしNEWS

一志総合支所
地域振興課 発行
電話: 293-3000
FAX: 293-5544
令和3年12月16日
第52号

満開のコスモス

とことめの里一志周辺の水田に「平田地区秋桜管理組合」が管理するコスモスが咲きました。

9月上旬に種まきを行い、2週間程で発芽しましたが、天候不順により最初の花が咲き始めたのは10月中旬でした。その後は順調に成長し、11月初旬には満開となりました。

今年も、同管理組合が設置した「ピンク色のドア」が好評で、家族連れで賑わいました。



渡り蝶の「アサギマダラ」今年も飛来！

9月30日、波瀬下之世古自治会が管理する「里の上広場」に、今年も待望のアサギマダラの飛来が確認されました。

今年も、フジバカマ畑や来訪者駐車場の整備を行い、地域内外から訪れる多くの方は、優雅に飛び交うアサギマダラの姿を目で追ったり、花に止まった蝶を撮影するなど思い思いに楽しんでいました。

また、蝶がどこから飛来して来たのかわかるように、蝶の羽に印を付ける試みも行われました。



各小学校で人権学習の発表会を開催

11月20日（土）、各小学校で人権学習の発表会がありました。

一志東小学校では「人権なかよし集会」と題し、これまで各学年が取り組んできた人権学習を通して、自分たちのくらしや仲間との関係を見つめ直して考えたことを、お世話になったゲストティーチャーの皆さんや保護者の方々に発表しました。

発表を聞いた方からは、「人権を大切にするという気持ちを育もうとする学習目的がよくわかったし、何より子どもの純粋な心に感動しました」「胸が熱くなりました。一人ひとりが真剣に考え、気持ちのこもった発表で、大事な時間を与えていただきました」「人権が身近にあることを子どもたちにもわかりやすく、親も改めて気づかせてもらいました」と温かな感想が多数寄せられました。



4年生の発表の様子



6年生の発表の様子

一志西小学校では「ともだち集会」を開催し、1年生から6年生が発達段階に合わせて、自分や、家族、地域、そして人権にかかわる様々な問題について学習し、学び考えたことを、保護者や地域の方に発表しました。

出会い学習でゲストティーチャーとして子どもたちの学びを支えてくださった方や、学校運営協議会の委員も来校し、子どもたちの発表に耳を傾けました。

子どもたちからは「緊張したけど、頑張って発表できた」「たくさんの人に来てもらって嬉しかった」と発表の成果を振り返ることができました。



☆イベントⅠ 「タイムカプセルを掘り起こそう！」

10月3日（日）午後、30年前の「創立20周年記念」の時に埋めたタイムカプセルを「掘り起こそう」ということで、当時の生徒・教員・PTA会長ら約120名が大集合し、とことめの里との境界に埋まっているタイムカプセルを掘り起こしました。

新型コロナ感染非常事態宣言が解除になった直後でしたが、感染対策を取りながら作業にかかりました。

固唾をのみながら参加者たちが見守る中、次第にカプセルがその姿を現しました。やがてふたの部分が開けられ、みんなの目が注がれましたが、残念ながら水がたまっていました。

それでも、埋められたものを取り出し、中庭(プラザ)に移動して、各クラスごとに一つ一つ中身を確認しました。「30年後の自分に宛てた手紙」が多かったようで、運よく読み取ることもできましたが、ほとんどが解読が難しく、自分のものを見つけ出すのも大変でした。

わずかな手がかりから、当時のことを思い出しながら、久しぶりに集まった仲間たちとの会話が弾み、当時の先生方も囲みながら、懐かしい話に花が咲きました。

なお、この時掘り起こした物は、一志中学校で明年1月11日までお預かりしていますので、取りに来ていただけると幸いです。



一志中学校創立50周年記念イベントを終えて

☆イベントⅡ 「一志中50年のあゆみ」

11月6日（土）、文化祭の中で一志中学校の現在の生徒と卒業生・PTAで50周年を盛大にお祝いしようと企画していましたが、コロナ禍のため、保護者は学年ごとに入れ替え、吹奏楽・有志発表の生徒の保護者に限るようにしたため、卒業生に対しても広く呼び掛けることができず、参加者は少なくなっていました。それでも、新旧の生徒に歴代の校長先生も加わって、同じ場所で「創立50周年」をお祝いできたことは何よりのことでした。



前半は、タイムカプセル開封の様子を通して、当時の生徒の一志中学校に対する思いを伝えました。

後半は、「一志中50年クイズ」を通して、一志中学校の創立当時の各世代ごとの様子を知り、50年のあゆみをかみしめました。クイズは4択の問題で、創立時から現在に至るまでの20問に挑みました。一番正解が多かった人で75点、全校生徒・OB・教員・PTAで楽しむことができました。

また、周辺校に先駆けて頭髪自由化を実施した時のお話を、当時の吉村校長先生から直接話していただくなど、一志中学校が大切にしてきたことを今の生徒たちに語っていただきました。さらに、卒業生の吉田沙保里さんからの動画も届けられ、イベントに花を添えました。

シリーズ 地域の名所旧跡・・・その⑯



(庄村波多神社に奉納舞)



(其村獅子舞)

其村獅子舞（其村地区）

《津市指定無形民俗文化財》

獅子舞は、わが国古来からの民族芸能の一つでした。田植えの神事、神社の祭礼、盆会、雨乞いなどに行われ、獅子舞の歌は全国的に共通のものが多く、獅子踊、神楽ともいい、伊勢では大神楽、代神楽ともいいます。

其村に伝わる獅子舞に使われる獅子頭・長持は、伊勢獅子の良さを備えており、江戸時代中期の作風をよく残しています。古老によると、其村の獅子舞は今から200年程前に始まったものではないかといわれています。

この獅子舞は、氏神である八柱（やはしら）神社への奉納に始まるといわれ、悪魔祓いを目的として春祭りの日に村の各戸をまわって行われていました。時代とともにだんだん後継者が少なくなり存続が危ぶまれるようになりました。1986年（昭和61年）に傷みの目立つようになってきた獅子頭・天狗の面を修理し長持を新調したことを機に、獅子舞復活の気運が高まり保存会が結成され、毎年10月10日に近い日曜日に、八柱神社が合祀された庄村・波多神社に奉納舞をした後、其村の各戸をまわって門舞が行われていました。しかしながら、後継者などの諸事情からここ数年行われていません。

（引用主要文献「一志町史」）

歴史講演会『雲出川流域の歴史をさぐる…原始・古代を中心に…』

「一志町歴史語り部の会」の主催による歴史講演会を、下記のとおり開催しますので、多くの方のご来場をお待ちしております。

日 時：令和4年1月16日（日）13:30～15:30（受付13:00～）
会 場：一志農村環境改善センター（一志総合支所西隣）
講 師：浅生悦生氏（郷土史家・三重郷土会常任理事）
申込締切：令和3年12月24日（金）

お申し込み・お問い合わせは、一志総合支所地域振興課 ☎293-3000 まで
※情勢の変化によりやむを得ず中止する場合がありますのでご了承ください。